

2025 年春休み海外派遣事業

オーストラリア・スクール体験&ホームステイ

事業報告書



(公財) 国際青少年研修協会

ごあいさつ

公益財団法人 国際青少年研修協会

会 長 高田 裕之

青少年の国際性のかん養を目的とし、昭和 48 年に設立し、文部科学省より財団法人の認可を
いただいて以来、青少年の育成に努めて参りました。

本会が設立された当時は、青少年や未成年者が海外へ渡航するのは、体力・能力・社会経験、
それに経費 の面からも尚早であるという意見が大半を占めていました。

そんな中でスタートしました青少年の海外研修 交流事業も、各地方自治体および教育委員会
のご協力を賜り、多くの方々に本会事業に参加していただいております。改めて感謝申し上げま
す。今年度も、参加された皆様は、ホームステイや学校体験、文化交流会などを通じて、言葉や
生活習慣、食 文化に戸惑いながらも確実に成果をあげられました。その事は、参加された皆さん
の感想文やレポートから 感じられ、嬉しく思っております。また、その後もお互いの理解を深め、
友情の絆が培われ、夢が大きく膨 らんでいます。

より複雑になっている国際問題、民族紛争や地球環境問題等、人類の存亡に関わる大変な課
題に直面している現在、政治経済はもとより、戦後積み上げられてきた社会の仕組みが成り立た
ない時代へと突入し、様々な改革が求められております。こうした時代だからこそ、心の豊かさを
育んでいく事が将来の大きな鍵 を握っていると思います。

本会事業に参加した青少年たちが、様々な体験を通して掴んだ感動を源に、次代を担っていく
逞しい力と なってくれることを願っております。

最後に本事業の実施にあたり、ご協力頂きました多くの方々に心よりお礼申し上げます。

皆様の温かいご声援とご協力を今後ともお願い申し上げます。

2025年オーストラリア研修日程

3月24日～4月4日

月日		時間	予定	食事
3月24日	月	16:00	事前研修会 国際オリンピック記念青少年総合センター(宿泊)	夕
3月25日	火	日中 夕方 22:00	事前研修会 続き 羽田空港に移動 両替、搭乗手続き 羽田空港発 カンタス航空060便 機内泊	朝 昼 夕(空港)
3月26日	水	9:55 12:35 14:10 15:30	シドニー空港着 入国審査後 国内線に乗り換え シドニー空港発 カンタス航空737便 アデレード空港着 専用バスにてHallett Cove Schoolへ移動 Hallett Cove School到着 ホストファミリーとマッチング ホームステイ開始	機内 昼(空港) 夕
3月27日	木	朝 終日 夕方	Hallett Cove School集合 学校体験(授業6時間) ホストファミリー宅に帰宅	朝 昼 夕
3月28日	金	朝 終日 夕方	Hallett Cove School集合 遠足(田園地帯巡り) Urimbirra Wildlife Parkでコアラ・カンガルー見学) ホストファミリー宅に帰宅	朝 昼 夕
3月29日	土	終日	ホストファミリーと過ごす	朝・昼・夕
3月30日	日	終日	ホストファミリーと過ごす	朝・昼・夕
3月31日	月	朝 終日 夕方	Hallett Cove School集合 学校体験(授業6時間) ホストファミリー宅に帰宅	朝 昼 夕
4月1日	火	朝 終日 夕方	Hallett Cove School集合 遠足(マウントロフティサミットに行き市内を一望する) ドイツ村で昼食 苺ジャムショップで買い物 ホストファミリー宅に帰宅	朝 昼 夕
4月2日	水	朝 午前 午後 夕方	Hallett Cove School集合 小学校訪問(日本文化紹介) オーギーボール授業とゲーム アボリジナルカルチャーを学びブンメラン制作 ホストファミリー宅に帰宅	朝 昼 夕

4月3日	木	朝	Hallett Cove School集合 ホストファミリーとお別れ	朝
		午前	Fare well Celebrationでスピーチ(インターナショナルクラス)	
		午後	Hallett Cove School出発 アデレード空港着 出国手続き	昼
		17:10	アデレード空港発 カンタス航空744便でシドニーへ	
		19:30	シドニー空港着 乗り換え	
		22:05	シドニー空港発 カンタス航空025便	機内泊
4月4日	金	5:55	羽田空港着 通関後、解散 (東京駅解散予定者はJRで東京駅へ移動) (国内線フライト予定者は国内線ターミナルへ移動)	機内



参加者のアンケートより

Home Stay Report

1. 食事でよく出てきたものは？

朝食	昼食	夕食
シリアルとヨーグルト	サンドイッチ	オムレツ
トースト2枚にジャムなど	フルーツ	カレー(色々な種類)
フルーツとヨーグルト	ナッツバー	ピザ
サンドイッチ	ラップサラダ	パスタ(色々な種類)
	ホットドック	タコス
	フルーツ・りんご・バナナ	野菜サラダ
		ソーセージ・ベーコン
		インドネシア料理

★ 好きだったメニューは？

オムレツ・カレー・ピザ・タコス

マルビー(インドネシア出身のお母さんの郷土料理)

カンガルーの肉をバーベキューで食べたら、さっぱりしていておいしかった

2. 日本料理は何を作りましたか？

いなり寿司	うどん	味噌汁
おにぎり	ラーメン	抹茶
お好み焼き	天ぷら	フルーチェ

★ホストファミリーの感想は？

- ・全て美味しいと残さず食べてくれた ※ほぼ全員の感想でした
- ・お好み焼きは大好きと言ってとても喜んでくれた。
- ・のりは喜んでくれてそのまま食べてくれた※おやつのようにそのまま食べるみたいよ
- ・とてもおいしいと言ってきて特においなりさんが人気でした。
- ・味噌汁は2人が食べれて2人は苦手そうだった。
- ・日本食が好きと言ってくれた。
- ・Very Good Beautiful と言ってくれた

3. 平日の夜は家でどのように過ごしましたか？

- ・お母さんと一緒にお茶を飲んだりテレビをみたりした。
- ・夕食の時に全員で話をした。
- ・ホストファミリーとカードゲーム。(UNO)
- ・ホストチューデントとランニングをしたり遊んだりした。
- ・学校の帰りにそのまま電車でショッピングに行き買い物をした。
- ・外を散歩したりビーチに行ったりした。

4. 休日の過ごし方は？

- ・ホストファミリーとビーチやオーギーボール観戦。(せいせい)
- ・ホストファミリーが、City、植物園、公園、ビーチに連れて行ってくれた。
(夏&あおちゃ)
- ・ドライブをしながら海に行ったり博物館に行ったり BBQ をした。(あられ&すず)
- ・土曜日はホストチューデントとその友達と一緒に海で泳いだ。
- 日曜日は3人でショッピングモールに行ってお土産を買った。(あんちゃん)

5. 日本の家庭との違いは？

- ・あまり頻繁に洗濯をしない。基本的に週末まとめて洗濯する。
- ・『ありがとう』をたくさん言う。
- ・みんなでご飯をつくる。夕ご飯の時間が早い。
- ・お風呂はシャワーのみで時間が短く、水を大切にしている。
- ・シャワーは4分だったし水が貴重だから水を大切にしている。
- ・たくさんコミュニケーションをとる。
- ・21時30分には全員寝ていた。

※オーストラリアは10年間に5地域に滞在しましたが、水事情は今回が一番厳しいと感じました。アデレードはいつも晴天で海沿いの美しい街ですが、夏に雨が3か月も降らず乾燥した状態です。シャワーは3分～5分と初日の授業で勉強しました。みんな良く守れていたと思います。世界の温暖化を肌で感じる研修でした。

6. コミュニケーションをとるのに何をしましたか？

- ・わからない時は、自分から単語を聞いたり書いてもらった。
- ・体を使ってジェスチャーをして翻訳アプリも使った。
- ・手伝える事は何かないか聞いて、一緒にいる時間を増やすこと。
- ・家族のアルバムを見せて説明したり日本の話をたくさんした。
- ・常に笑顔で居てあいさつをすること。
- ・料理の名前を聞いたりお手伝いをすることがあるから、たくさん聞いたりした。
- ・分からない事や気に成ることをどんどん質問をした。

7. 楽しかったことや思い出に残っていることは？

- ・全て楽しかった。オーストラリアはフレンドリーだった。
 - ・普段の生活がいつも楽しくて、ファミリー全体がとても楽しい人たちだった。
- ・星を見たこと。**※南十字星が見えますよね** 🍒
- ・ホームステイ1日目は緊張している中3人でビーチに行って散歩をした時はドキドキしながらも振り返れば良い思い出に成りました。
- ・毎日夕食での時、3人で話すのが結構楽しいです。
- ・インドネシア料理のマルビーを食べたこと。
- ・BBQ でカンガルー肉を食べた事。意外と美味しかった。
- ・色々なビーチに行って綺麗な景色を見たこと。
- ・ビーチに行って泳いだこと。

8. 次に行く人に教えた事がありますか？

- ・初めは緊張するけど2.3日で慣れるよ。凄く楽しいので心配することないです。
- ・何とかなる！ジェスチャーや単語で伝わる。めちゃくちゃ楽しい10日間だった。
- ・しっかりした英文に成っていなくても単語さえ合っていれば相手に伝わる
- ・助け合えば何とかなります。(高2、2人ステイ)。
- ・今もだけど、相手が話していることを全て理解する事は出来ません。でも自分が知っている単語が出てきたらそれを何回も繰り返したり、文の最初が何で始まったかを聞き取る事によって、大体わかります。(中1、2人ステイ)

※みんな優しい楽しいホストファミリーに出会えましたね。

チェリーのアドバイスは、三日目には英語は聞こえてくるからそれまで頑張れ！

日本食を身に付けておくと絶対喜ばれるし、もし食が合わない時には自分を助ける。

部屋に閉じこもらず出来るだけ日本とメールをしないです 🍒





School Report



1. 学校名 Hallett cove School

2. 全校生徒の数 約 1300 人

3. 学校まで何で行った？

- ・ファミリーが毎朝、車で送ってくれた。
- ・バス
- ・徒歩

4. 出席した科目は？どんなことをした？

- ・英語の授業(担当の先生 Ms. Wright)

ホームステイでの問題を英語でどのように伝えれば良いか。

丁寧で礼儀正しい英語は何か？

アデレードの食べ物、動物、など

リスニング・スピーキング・ライティング

- ・(担当の先生、日本語の先生)

- ・オーストラリアと日本の違いをクイズ形式で日本語クラスの生徒と一緒に参加

- ・1日は、ローカルバディーと一緒に授業に参加した

(体育・歴史・数学など)

- ・アボリジニの歴史と文化を知る。
- ・アボリジニの絵柄の意味を知りブンメランを制作
- ・体育の授業でオーギーボールを習い実際に簡単なゲームをやってみる。

5. 自分が通っている学校との違いは何？

- ・校舎内に小学校から高校まであること。
- ・生徒がみんな明るくフレンドリー
- ・1時間目と2時間目や3時間目と4時間目の間に休憩時間が全くない。
- ・2時間目と4時間目の後に2回食事の時間がある。
- ・部活動がないので 3:15 分で生徒全員が下校する。
- ・インターナショナルクラスは世界中から生徒が集まっている。
- ・校舎内でスマホの使用が禁止されている。
- ・校則が少なく自由
- ・スカートで体育の授業を受ける。



6. コミュニケーションをとるのに何をしましたか？

- ・『Excuse Please thank you』を言うように心がけた。
- ・スクールバディとの遠足では、名刺や簡単なプレゼントを渡し仲良くなった。
- ・とにかく話しかける。
- ・相手の話を笑顔で聞いてうなずいた。
- ・日本から持ってきた名刺や小さいプレゼントを配る。
- ・ジェスチャーをした。

7. 学校でやってよかったと思うことは何？

- ・先生が話している時に目を見て頷きながら話を聞いた。(先生が褒めていました)
- ・目が合った人には手を振って挨拶をした。
- ・日本のお菓子や写真を見せた。
- ・日本から持ってきた名刺やプチギフトを渡した。
- ・小学校での日本文化紹介。(全員一致)

8. 事前にもっと準備すればよかったことは何？

- ・話したい事、聞きたいことを紙に書いておけば良かった。
- ・話す話題を作っておけば良かった。
- ・知っている単語をもうちょっと増やしておけば良かった。
- ・日本の文化をもっと知る。
- ・歌の練習をもう少しすれば良かった。
- ・学校で出会った子へのコミュニケーションの英文法。
- ・季節を確認して洋服を準備すること。遠足の日が寒かったので上着は必要だった。

9. 学校で学んだこと、感じたことは何？

- ・初めてアウトプットをして、やっぱり英語は自ら話すことが大切だと感じた。(中1)
- ・オーストラリアの学校は多文化で色々な生徒が協力しあっているのがいいと思った。男女関係なくみんな仲良しで明るい (中1)
オーストラリアの学校は日本と比べて、授業の受け方堅苦しくなく、生徒が先生の話聞くだけでなく積極的に発言していた。(高1)
- ・伝えようとすればジェスチャー、写真、知っている単語で相手と繋がる会話が出来る。英語が通じたら凄く嬉しい。(高2)
- ・先生にオーストラリアの礼儀や文化を沢山教えてもらえたのが良かった。
- ・言葉が分からなくても海外でも生活をする事が出来ると分かった。(高2)
- ・日本の事を知ってくれている人が多くて嬉しかった。(高2)



日本の文化紹介アンケート



1. 日本の文化紹介はどこでしたの？

Hallet Cove Junior Classroom (Year4.year6)

2. 日本文化紹介で自分が紹介したものと反応

- ・折り紙・・・ハートとピカチュウと鶴を完成する。

みんなピカチュウを知っていて『ピカチュウ』と言って喜んでくれた。

ハートの形と分かった時、凄く嬉しそうだった。

- ・輪投げ・・・日本で制作して一人3回トライできる。

列にできるくらいみんな楽しんでた。

景品があるので更に盛り上がった。

- ・だるま落とし・・・日本のだるま落としを持っていく。

最後までやるのが難しい様で、出来ない又何回もトライしてくれる小学生が多かった。

- ・書道・・・First name を聞いて日本語で書く。

みんなに楽しかったと言ってもらい、好評でした。

4. みんなで歌った歌は何？

- ・上を向いて歩こう・・・歌が意外と人気だった。

5. 人気のあったコーナーは？

- ・すべてが良かった。(参加体験型の文化紹介は盛況でした)

6. 工夫してよかったことは何？

- ・折り紙・・・先に少し折り紙を作っていたこと。
- ・書道・・・小筆を使う事で折り紙に収まるようにした。

50音順の漢字を日本で作って準備した。

- ・輪投げとだるま落としの紹介文を準備しておいたのでスムーズに説明できた。

7. 他にどんなことをやったらいい？

- ・けん玉・めんこ・糸電話など
- ・だるま落としは出来た時の景品を用意したらもっと盛り上がったかもしれない。

8. その他気づいてことは？

- ・生徒の日本文化を知ろうとする姿勢が凄く良かった。
- ・小学生が真剣に説明を聞いてくれた
- ・仲良くルール通りにやってくれた。

※みんな日本でしっかり準備をして来てスムーズに発表できて大成功でした🍒



参加者の日記

※さすが全日分の日記を書いてくれました。毎日楽しかった様子が伝わってきます。
愛媛弁も混じってとっても可愛い♡ 折角なので全文のせることにしました。
日本で作って持ってきてくれた輪投げは、アデレードの小学生にとっても人気があったね。
細部まで凝っていて素晴らしかったです。最年少の中1なのに本当に頑張りました。

中1 中元 寿々羽(すず)

3月24日(月)

まず、愛媛から東京に行く飛行機に乗るとき、もう家族と別れるという寂しさに涙を流しました。
東京の人の多さに圧倒されながら宿泊先に着き、日本のみんなはあられちゃん以外年上で緊張
したけど、すぐに仲良くなれました。

3月25日(火)

研修をしていよいよオーストラリアに行く飛行機に向けて空港に行きました。KSKKから1500円を
貰って吉野家に行って残りのお金で機内のお菓子をセブンであおいと買いました。もうこの時点で
みんなとはめっちゃ仲良くなれとって、一緒におるんが楽しくてしかたなかったです。飛行機の横
はあおいでその隣がセイセイでずっと面白くて腹ちぎれるかと思いました。機内食はあんまり食べ
れなくて、セイセイに食べてもらいました。おいしそうなブラウニーだけ明日の朝ごはんにとってお
きました。飛行機の中は足がつかれるのでスリッパをおすすめします。

3月26日(水)

飛行機の乗り換えをして、いざアデレードに着くと暑かったです。
学校に行ってホストファミリーとマッチングして家に行くとき、日本のみんなとお別れするのが寂し
かったです。お父さんのデレクが迎えに来てくれていて、たくさん話してくれたけど、8割聞き取れ
なかったです。海外に初めて行く人はめっちゃリスニングしといたほうがいいと思います。家はめっ
ちゃ広くて家族も優しかったです。
お風呂に入ったあと、ヘアドライヤーが家がないことに気が付き、絶望しました。(帰る日まで自然
乾燥でした。) 夜寝る前、日記を書いているときに日本の家族を思い出し、とてもホームシックに
なりました。でも、スマホを持っていかず、デジカメにしたのが幸いでした。きつと持っていったら家
族と連絡を取ってさみしくなっていたと思います。

3月27日(木)

夜は疲れとベッドがふかふかで一回も起きませんでした。
朝、ベジマイトに挑戦するかって言われてトーストにつけてみたら、日本人の舌には合わない味で
した。学校のスクールバディの子はとっても優しく、昼食を学校のグラウンドで一緒に食べました。

海外の学校は日本よりも自由で、広々としていていいなと思いました。夜はいつでもデザートが出てきて、この日は日本から持っていった坊ちゃん団子と、バニラアイスクリーム、スポンジケーキ、緑茶で全部美味しかったです。

3月28日(金)

オーストラリアのこの時期はすごく星が見えます。家のベランダから上を見上げると、星が見えました。日本よりも星が明るくて多いです。

この日は動物園に行き、コアラに触ったり、カンガルーに餌やりをしました。朝なのでカンガルーがお腹が空いていて、餌の喧嘩に巻き込まれました。ここでカンガルーが少しトラウマになりました。オーストラリアは「Monday」を「マンダイ」と発音します。こういうような、行ってみないとわからないことをたくさん学校で学びました。

3月29日(土)

朝からデレクと散歩に行きました。きれいな地層や山、海を見ました。

市場に行って、カンガルー肉を買ってくれました。ここの市場は売り物を勝手に食べたり、値段が適当で日本と違うなと思いました。

夜は日本食を作りました。うどんやおいなりさん、みそ汁、おにぎりを作るととても喜んでくれて、美味しそうに食べてくれました。

3月30日(日)

この日はアデレードボタニカルガーデン(Adelaide Botanic Garden)に行きました。花がたくさん咲いていて、いい匂いでした。

BBQ ではカンガルー肉とビーフ、ウインナーを食べました。カンガルー肉は思っていたより臭くなくて、美味しかったです。平日でも休日でもリビングのソファに座ってテレビを見ます。テレビはバラエティや映画などを見て、家族団らんの時間を楽しみます。デザートはフルーチェを作りました。美味しいと言ってくれて、簡単に作れるので、ぜひ作ってみてください。

3月31日(月)

オーストラリアはいちごが有名で、ジャムがたくさん売ってあるお店に行きました。ここに来たら絶対ジャムをおみやげに買ってください。1つ1ドルくらいで買えて、大きいサイズは6ドルくらいで買えます。たくさん買っても30ドルくらいで済みました。

4月1日(火)

この日は小学4年生と6年生の子に日本文化紹介をしました。私は手作りの輪投げをしました。時間が少なかったですが、事前に輪投げの説明の英文を紙に書いていたので、テキパキ進めることができました。すごく受けが良くて、喜んでもらえました。お昼ご飯は外で食べました。あとちょ

っとでみんなと別れるのがさみしくなって、絶対、大阪で遊ぶことを約束しました。

帰る 2 日前くらいから荷物整理を始めておくと帰るときに楽です。

4 月 2 日(水)

フットボールを学校でしました。意外と難しく、手にあざができました。

4 時間目にはオーストラリアの有名な食べ物を準備してもらいました。私が一番好きだったのは「Tim Tam」です。甘いものが好きな人はたぶん好きです。夜寝る前にホストファミリーの 22 歳のミアと 17 歳のエラがブレスレットとポーチをプレゼントしてくれました。手紙も書いてくれました。

4 月 3 日(木)

朝起きたとき、もう日本に帰るという実感が湧いてきて、さみしくなりました。部屋の机に手紙と似顔絵と鶴を折っておきました。そして自分の口からも感謝の気持ちを伝え、写真を撮りました。そこからはバタバタして東京行きの飛行機に乗ったときは 9 日間の疲れがドッと押し寄せてきました。飛行機の到着時間が近づいてくる度、飛行機をおりたくない気持ちが大きくなりました。

4 月 4 日(金)

日本の空港に着いて、電車で家に帰るグループと、飛行機で家に帰るグループで別れの時が来ました。飛行機に乗るグループもそれぞれ県が違うので、別れを言って、ゲートに向かいました。そしたら乗る時間が一番遅いあおいが私のところまで来て、2 人で駄菓子子のプチプチチョコ占いをしました。◎○△の 3 段階占いでしたが、1 回も△が出ることはありませんでした。これは今回のホームステイの結果だと思いました。

私が今回、このホームステイをこんなに楽しむことができたのは、まず出会えた日本人メンバーに恵まれていたからだと思います。誰か 1 人欠けていたら絶対楽しめなかったと思うし、年齢の違う 6 人が出会えたこと、仲良くなれたことは本当に奇跡だと思います。そして、何もわからない私にたくさんのことを教えてくれたチェリーさん。会長でありながら送り迎えや資料作りをしてくれた高田さん。

オーストラリアのみんな。

日本人のみんな。

そして、このプロジェクトに参加したいと言った私の背中を押してくれた家族。

このホームステイに携わってくれたたくさんの人に心から感謝します。

オーストラリアでの 9 日間は私の人生でとても濃いものとなりました。

参加者の感想

中1 水島 果乃（あられちゃん）

感想文

私は初めてのオーストラリアということもあり、緊張と不安を抱えながらの出発となりましたが、現地での多くの出会いや経験を通して、自分自身の成長を実感することができました。

研修中は、現地の学校での英語の勉強、文化交流など、盛りだくさんのプログラムが用意されていました。中でも特に印象に残っているのは、現地の学校の授業の様子です。日本とは異なる考え方や話の内容に触れ、自分の考えがいかに固定的だったのかを痛感しました。たとえば、オーストラリアでは「授業中は自分から発言すること」を非常に大切にしており、一人一人がたくさん発言して楽しみながら授業を受けていました。先生の話聞いて黒板にかいてあるものをノートに写すという日本の授業の在り方とは対照的で、とてもびっくりしました。

また、語学力の面でも自分の未熟さを感じまし。普段学校で習っていることとは全く違うリアルな英語の中にいきなり飛び込んで、先生たちの話や友達同士の会話などを聞いていると、知っているキーワードしか頭に入ってこず、その意味を考えている最中にどんどん話が進んでいっていることが多々ありました。また自分の言いたいことをうまく伝えられず、悔しい思いをする場面が何度もありました。現地の人々は親切に接してくれましたが、もっと自信を持って話せるようになるには、日々の積み重ねが必要だと改めて感じました。

オーストラリアに行って日本と正反対でとても衝撃を受けたものは、写真を撮るときのポーズです。写真を撮るとき大抵ピースをする日本とは違い、オーストラリアは今していることなどを写真に記録するという意味で撮っているらしいので、あまりポーズはしないそうです。また、オーストラリアでのピースはあまりいい意味ではないそうです。なので、写真を撮るときは手をパーにしてニコツしたり、グーポーズをしたりして撮るといいと思います。

一方で、積極的に現地の人々と関わろうとする姿勢を持ち続けられたことは、私の中での大きな成果だったと感じています。言葉に詰まりながらも、体を使ってジェスチャーをし、自分の言いたいことをおもいつきり伝えようとする気持ちは、一番大切です。

今回の研修は、自分の視野を広げる大きなきっかけとなりました。もっと英語を勉強してまたオーストラリアに行き、家族たちに会いたいです。最後に引率してくださったチェリーさんをはじめ、Kskkの関係者の皆さんに感謝します。このような素晴らしいプログラムを組んでいただき、本当にありがとうございました。

※チェリーより・・あられちゃんは、とっても積極的に活動出来ていました。ライト先生が、あられちゃんは反応が伝わって来て素晴らしいと褒めていました。中1の英語力では分からない事が沢山あったと思いますが、常にポジティブに明るく乗り切っていましたね。写真のポーズについて、私もこれからはアデレード式を心がけようと思いました。

オーストラリア留学

東京に行く日まで全然実感がなくて不思議な感じだった。でも、研修センターで集合したとき実感が湧いてきた。みんな明るくてとってもフレンドリー。事前研修会が始まってすぐに打ち解けて仲良くなった。すでに会ったことがあるような感じがしたのはなんでだろう。東京での前泊を過ごしてチェリーさん含め、この7人で行くオーストラリアが楽しみで仕方なかった。人生2回目の飛行機、初海外。羽田に着いてから見るもの全てが初で楽しかった。羽田でのインタビューは緊張したけど優しく答えてくれて、オーストラリアで会話するのが楽しみになった。飛行機から降りたら、湿気と暑さがすごかった。アデレードに着いてすぐ、Hallett Cove School に向かった。ホストファミリーがすぐ迎えにきて不安を感じる前にみんなと別れた。マザーは車で海が見える高台に連れてってくれた。私の住んでる所には海がないからきれいな海が見えるアデレードの土地や人の空気感が一瞬で大好きになった。ホームステイした家はドイツ人の女の子とマザーの3人だった。夕方にはビーチを散歩した。水平線が見える海を眺めながら、アデレードに着いた実感とこれからの不安を感じながら過ごした。家のシャワーは4分、水と電気を大切に使っている。明日はどんな1日だろう？学校まではバスで5分。今日は一日英語漬けの授業。Excuse me, please, thank you がとっても大事。午後には、local buddy と自己紹介をした。とっても優しかった。buddy たちが日本語でオーストラリアの動物、植物などの紹介をしてくれた。日本の学校と違うところは授業の間に休憩がない代わりに午前中にお菓子休憩があること。家では日本のお土産とお菓子をあげたらとっても喜んでくれた。自分でもびっくりするぐらいホームシックにならなかった。次の日、school buddy とバスに乗って動物園に遠足。オーストラリアの開けた土地と自然を眺めながら、buddy と話して楽しかった。カンガルーに餌をあげたり、コアラに触った。ふわふわしてて可愛かった。お土産を買い、その後海を見た。周りには海と崖しかなくて大陸の端に私はいた。夜はシスターの友達と初めて電車に乗り、Central Market に行った。日本の市場みたいで賑やかだった。本当に友達みたいに接してくれて嬉しかった。初めての週末。ファミリーと過ごす時間が長いから沢山会話しなきゃと頑張った。午後はビーチで泳いだ。気持ちが良くて、本当に来てよかった。スーパーに行って日本食の具材を買ってくれた。会計がベルトコンベアで新鮮だった。お土産を買いだいたいって言ったらショッピングモールに連れていってくれた。着いてすぐ時間と場所を言われて1人になった。この状況にドキドキで迷子にならないか心配だったけど、なんでもできそうな気持ちで1人ショッピングを楽しんだ。アデレードは多国籍な国だから自然と私も馴染んでいた。夕飯は私がラーメンを作ってあげた。でも、3人前を一気に作るのは初めてでのびのびのラーメンができてしまった。留学半分が過ぎ、生活にも少しずつ慣れてきた。今日からバスで1人登下校。International buddy と strawberry farm、ドイツ村に出かけた。バスでの遠足は毎回ワクワクするし、1日があっという間に過ぎていく。南十字星をマザーと見た。アデレードの空はいつ見てもきれい。今日は How can I help you と沢山言って手伝えた。次の日、学校で4年生と6年生に日本文化紹介をした。大盛り上がりで終わって

大成功！buddy のクラスの授業を受けた。その後は外で football をやったり、スイーツを食べ比べしたりとにかく楽しかった。夕方はマザーと海辺を散歩した。最後の夜だから景色を目に焼き付けた。感謝の手紙を渡した時、寂しくて泣いてしまった。またいつか絶対戻ってこようと決めた。最後に英語でスピーチをして学校をでた。日本まではあつという間で、思っていたことは「日本に帰りたくない、まだアデレードにいたい！」だった。自分でもこんな感情になるとは思ってなかった。行かせてくれた両親、一緒に行った 5 人の最高な友達、チェリーさん、高田さんに感謝してこの経験をこれからもずっと大切にしていきたい。

※チェリーより…あんちゃんから届いたメールが、『書きたいことが多すぎて1700字に成ってしまいました。いいですか？』でした。

先にホームステイしていたドイツの子と一緒に家で、楽しかったことも大変だったこともあったと思います。

そのどちらも経験力にし、凄く強く成りましたね。帰国後早々オンライン英会話も開始し充実の高校2年生のスタートでした。

高2 島村 耀成(せいせい)

感想文

私が、今回の海外研修で印象に残ったことは四つあります。

一つ目は、東京に集合する時の事についてです。私は、あまり東京には行ったことが無かったので、銀の鈴広場の場所が分からず、上の表示を見たり駅員さんに聞いたりして、ようやく集合場所に集まることができました。なので、時間前行動は凄く大切だと思いました。

二つ目は、空港や飛行機に乗った時の事です。私は、空港に行って飛行機に乗った事は、今までで一回しか無かったので、少し不安を抱えていましたが、引率リーダーのチェリーさんやグループを誘導する夏海が頼もしくて少しも不安な気持ちがなくとても有難いと思いました。

三つ目は、オーストラリアの動物園に行った事です。テレビでしか見た事ない動物が、沢山いて凄く驚きました。また、カンガルーに餌やりして気付いたのは、カンガルーにも色々な性格の子がいて、おとなしい子や餌を貰いたくて追いかけてくる子などがいて、**カンガルーも十人十色なんだ**なと思いました。

四つ目は、オーストラリアの学校に行った事です。授業をしてくれたライト先生は、私たちにこのアデレードで過ごす時のルールやマナーなどとても大切なことを教えてくれました。また、スクールバディのケヤルとアントンは、気さくに接してくれてとても優しくかったです。最終日には、学校が地域のお菓子やピザなど準備してパーティをしてくれました。みんなと一緒に食べて、とても美味しく楽しかったです。

このようなオーストラリアの生活を経て、**物事への柔軟な思考性や人に対してフランクな関わり方などを学びました**。今回費用を出してくれた両親には感謝してもしきれません。海外研修で学んだことを精一杯人生に活かせるように頑張ります。

※チェリーより…せいせいは、アデレードの研修で『物事への柔軟な思考性や人に対してフランクな関わり方などを学びました。』とありましたね。でも、私の思うせいせいは、今のままでも、いつもご機嫌で、何でも楽しく活動し、素直で積極的で、とっても素敵なキャラクターです。せいせいが参加者の一人で本当に楽しかったです。今回はカンガルーミートを食べるチャンスが無かったようですね。いつか再びオーストラリアに行ってカンガルーミートに挑戦してね。

高2 木村 夏海（なっちゃん）

感想文

私がこの留学を通して一番初めに嬉しかったことは日本各地に友達が出来たことです。最初はどんな子がいるんだろうと少し緊張していましたが みんなが沢山話してくれたおかげでその日の夜にはもう家に帰りたくなくなっていました。

学校体験で楽しかったことは、スクールバディの子と遠足に行ったことです。バスではスクールバディの子と隣に座り、昨日の夕飯の話や放課後の出来事などについて話しました。行った先ではカンガルーに餌をあげたりコアアラと触れ合ったりしました。

この遠足を通してスクールバディの子とも一気に中が深まった気がしました。

また、『Aussie Food』を体験する授業もとても楽しかったです。オーストラリアの有名な食べ物を沢山用意して下さり、オーストラリアの食文化に触れることが出来て興奮しました。

『フットボール』をしたのも印象に残っています。みんなで投げ合いをしたり、ポールの真ん中に向かって蹴ったりととても楽しかったです。

休日は、ホストシスターとその友達とアデレード市内に行きました。そこではスーパーやショッピングモール、ボタニカルガーデンに行きました。アデレード市内は英国風でとても美しかったです。日曜日は家族で公園に行きました。大きいジェンガや輪投げ、綱引きなどをして遊びました。日本より家族との時間を大切にしているなと感じました。

今回の体験で大変だと感じたことは、スクールバディやホストシスター、ブラザーとの会話です。現地の先生やホストマザーとは違い、話すスピードが早く聞き取るのが大変でした。

ですが、スクールバディの子と会話ができた時、とても嬉しく楽しかったのを覚えています。もっと話したいと思いました。（日本に帰ってから連絡を取っています）

今回のプログラムを通して、異文化を肌で感じ、多くの驚きと発見をしました。また、海外の子と交流したことで、沢山の刺激を受けました。このような体験を味あわせてくれた沢山の人に感謝を忘れず、もっともっと英語が話せるように頑張りたいと思います。

ありがとうございました！

※チェリーより…『Aussie Food』を色々食べ比べができてとっても楽しかったね。なっちゃんは高2までの英語を駆使して、ホストバディやホストママと英語で沢山コミュニケーションがとれて良かったです。アデレードの生活に自然に溶け込んでいつも笑顔がチャームななっちゃんでしたね。



感想

アデレードに行ってよかったと思ったことが3つあります。

1つ目は英語をたくさん使えたこと

うことです。まず学校や家で沢山英語をききました。コミュニケーションをとるために一生懸命に英語を聞き取って理解しようとする、後半には相手が言っていることが自然と理解できるようになりました。また、自分が思っていることを英語と身振りで伝えることもできるようになりました。現地の人にとっては分かりやすい英語ではなかったかもしれないけど、**自分が知ってる言葉を考えて伝えようと努力すればきちんと伝わることを学びました**。普段の生活だけでなく英語の先生からたくさん英語を学べたことがとても良かったと思います。普段使いできるフレーズや礼儀正しい話し方など大切なことを沢山教えてもらえたのでとても役に立ちました。

2つ目は日本とは全く違う文化を学べたことです。たとえば朝ごはんは自分でつくったり、部活動は昼休みにあって、放課後はすぐに帰宅したり、家族と過ごす時間が多かったり、多国籍主義の国だから色々な文化があったり、夜寝る時間が早かったり、日本との違いをたくさん知ってこれはすごく良いなという発見が沢山ありました。自分を見直すきっかけにもなりました。

3つ目は一緒にアデレードに行った仲間との出会いです。学校の友達にももちろん仲の良い人は沢山いますが、これだけ短期間でこんなに心を開いてずっと一緒にいたいと思えるような人に出会えたのは初めてでした。初めて会ったのにずっと一緒にいるかのような運命的な5人に出会えて本当に嬉しいし大切にしたいと思いました。

気をつけておきたいこと（次に行く人へのアドバイス）

○私のホームステイ先では、家族の人が用意してくださった家のルールがたくさん書いた紙をはじめにもらうことができたのでよかったけど、初日に家のルールをしっかり聞いて、自分がきちんと守って泊まらせてもらうことが大事だと思った。

○相手が何を言っているかわからないことも沢山あると思うけど、そこで諦めて聞かないようになると勉強にもならないし相手にも不快な気分になってしまうので、どんなときも真摯に人の話を聞いて自分の意見を伝える努力をすることが大事だと思った。

○家族の方が放課後とかに「～～に行こう！」「～～して一緒に遊ぼう！」など沢山誘ってくれるのでそういうのは有難く受け取って一緒に色々なことをすることが大切だと思った。
感謝の言葉をたくさん口にするのが必要だと思った。

○お金はたくさん余っちゃう人がいたから、自分が欲しいものを見つけたら「とにかく買っちゃえ精神」で行っても大丈夫だと思った。

○とってもとっても暑いから、服は涼しいもの、そして日焼け止めと帽子とタオルがあったら絶対いいと思った。

○宗教の勧誘とかがあるから、それには気をつけるべきだと思った。

やってよかったこと

○帰りに手紙とコアラとカンガルーを折り紙でつくって置いてきたのが喜ばれた。

○ベッドの掛け布団とかは毎日きちんと綺麗にする。

○ゴミとか洗濯物とか散らかさない。

○大切なものはいつも同じ場所に置いておく。

※チェリーより・・・次回アデレードプログラムに参加する人に向けた内容がしっかりまとめてあり凄く役にたつと

思いました。ありがとう。

なっちゃんと同様に高2までの英語力があったのでホストバディーやホストママと十分英語でコミュニケーションが取れていたようですね。感想文にある『自分が知ってる言葉を考えて伝えようと努力すればきちんと伝わることを学びました。』との事。とても力強く自信が持てたことが分かります。

さあ、今年はいよいよ受験生ですね。全力で頑張ってください。



リーダーの感想

「チャンスの扉の向こうへ」…未来を託す君たちへ

引率リーダー 中村 千代 チェリー🍒

2025年春、オーストラリア学校体験&ホームステイに参加した6人の皆さん、その後元気に学校生活を送っていますか？早いものでみなさんとアデレードに行ってから1か月が過ぎました。ゴールデンウィークを挟み落ち着いた頃だと思います。

私が皆さんと初めて会った日は、ZOOM ミーティングの中でした。6人全員が明るく、前向きで、楽しいオーストラリア研修に成りそうな予感で一杯でした。

オリンピック記念センターでの事前研修では、ゲームを進めるにつれて笑顔が増え、一人一人の個性が見えて来た頃には、「オーストラリアは楽しい研修になること間違いなし」と嬉しく思いました。みんな明るく「自分の得意な事をしっかりも持っている中高生」でした。実はこれは、海外ではとっても大事な事なのです。スポーツや趣味など特技があり、自信がある物を持っている事が、世界で一番コミュニケーションの役に立つからです。

オーストラリアでは、Hallett Cove School の文化紹介で、各ペアーとも自信を持って実演出来ました。その結果、子供たちが大変喜んでくれて、良い交流発表会に成ったと思います。クラス授業は1日だけでしたが、みんなローカルバディーのクラスにずっと溶け込んでオーストラリアでの授業を体験することができました。ホームステイでは、みんなそれぞれのホストファミリーと良い関係が築けていましたね。

さて、私自身が今回の語学研修で一番学んだことは、『英語を勉強するだけではなく、英語圏で英語をどう使うか？』という事を学べたことです。

『Excuse me』『please』『thank you』は、何度も使う事。

お手伝いをする時は、『Excuse me, How can I help you』『Can I help you?』だけではダメ。

『I would like to～』が正しい英語で、I want to～は子供の言い方、丁寧に礼儀正しい英語を使いましょう。と教えて頂きました。ライト先生の英語クラスの授業は素晴らしいものでした。

ところで、私がなぜ青少年の国際引率ボランティアを続けるかと言うと、

『The reason why I often go to foreign countries with students is that I feel it is important for young student..』

若い時に世界にでて、自分の目で景色を見て、自分の耳で人々の声を聞き、その土地の空気に触れ匂いをかぎ、同じ世代の仲間と直接会ってコミュニケーションを取ることこそが、お互いの国を大事に思う気持ちに繋がると思うからです。本物に出会う事の大事さを感じるのです。そして、そんな体験をした未来を生きる皆さんの世代が、これからの世界を築いて行ってくれるでしょう。私は、若者が世界に一步踏み出す時、勇気のボタンをちょっと押してあげられる大人でありたいと思っています。今回、世界への一步を踏みだす扉を開いてくれた皆さんの家族には感謝の思いで一杯です。そして、『チャンスの扉の中に一步踏み出したみなさんは、このチャンスを生かし、この一步を育てて行って欲しい』と思います。

今、6人それぞれが、いつもと同じ日本での生活に戻りました。

しかし、オーストラリアに行く前の自分とは違う自分になっているのではないのでしょうか？『世界中の人とコミュニケーションをとるためには英語が必要』と感じ、今まで以上に英語の勉強に向っている事でしょう。それと同時に、『何とかして伝えようとする姿勢は語学力以上に大事』と、気づいてくれたことでしょう。

6人の今回の思い出や経験は、生涯を通じ【人生のキーワード】として力となる事でしょう。皆それぞれに自分の可能性を見つけ、前に進んで行ってください。そしてせっかく出会った6人だから連絡を取り、長く繋がる仲間であって欲しいです。且つ、時々みんなと連絡を取り、お互いに頑張る力を共有できる仲間であってください。

最後になりますが、全力で関わってくれた Haiiett Cove school のライト先生、お世話になった学校の先生方、この事業に関わって下さった全ての方々にお礼を申し上げます。

何よりも、私たちにお子さんを預けて下さったご家族の皆様と、一步を踏み出した勇気ある君たちへ感謝を伝えたいと思います。ありがとうございました。みんなに会えて幸せです。

オーストラリアありがとう！みんなありがとう！

I am looking forward to the day when we can all be together again.

by cherry 



参加者名簿

No	名前	ふりがな	学年	年齢	性別	住 所（一 部）
1	曾根原 杏海	そねはら あんみ	高1	16	F	長野県松本市
2	島村 耀成	しまむら ようせい	高2	17	M	茨城県坂東市
3	木村 夏海	きむら なつみ	高2	17	F	茨城県坂東市
4	松尾 葵	まつお あおい	高2	17	F	長崎県西彼杵郡長与町
5	水島 果乃	みずしま かの	中1	13	F	福岡県糟屋郡宇美町
6	中元 寿々羽	なかもと すずは	中1	13	F	愛媛県東温市
引率	中村 千代	なかむら ちよ			F	千葉県浦安市

2025 春休み海外研修交流事業

オーストラリア・スクール体験&ホームステイ 事業報告書

2025年5月

編集・発行 公益財団法人 国際青少年研修協会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-18-1 ハレザタワー20 階

電 話 03-6369-3696

F A X 03-6369-3696

E-mail info@kskk.or.jp

Website www.kskk.or.jp